



国際子どもの本の日 4月2日

4月2日は、デンマークの童話作家ハンス・クリスチャン・アンデルセンの誕生日「国際子どもの本の日」です。1966年にIBBY(国際児童図書評議会:子どもの本の国際連合ともいふべきNGO組織)の創始者イエラ・レップマンが提案し、翌1967年に記念日に制定されました。以来、子どもの本で国際理解を深めるために、毎年各国でお祝いや特別なイベントが行われるようになりました。1969年からはIBBYに加盟する国々が順番に、メッセージとポスターを作製して発信しています。

IBBYが創設50年を迎える2024年は、日本が担当国になりました。日本が作ったポスターが世界中に貼られ、日本からのメッセージが各国の子どもたちに届きます。今から楽しみです。

毎年この「子どもと本の日」通信の中でも、担当国のメッセージを紹介していますが、どれも心が温かくなるメッセージばかりです。

これまでのメッセージ&ポスター制作国(過去10年)を紹介します。詳しいメッセージを読まれる場合は、IBBY または JBBY(日本国際児童図書評議会)ホームページ等をご覧ください。

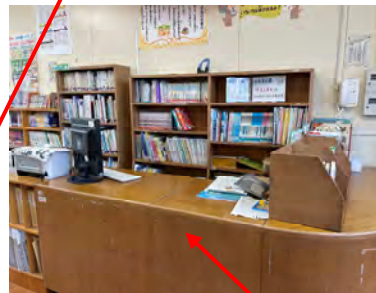
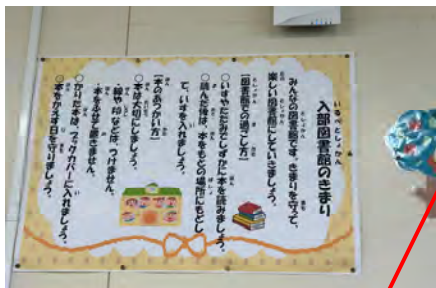
- 2022 カナダ 「物語は、私たちが飛べるようにしてくれる翼です」
- 2021 アメリカ 「言葉の音楽」
- 2020 スロベニア 「言葉に飢えるということ」
- 2019 リトアニア 「本はいそがなくてもいいことを教えてくれる」
- 2018 ラトビア 「本の中では、小さいものが大きい」
- 2017 ロシア 「読書は喜び」
- 2016 ブラジル 「昔々あるところに・・・」
- 2015 UAE 「多様な文化ひとつの物語」
- 2014 アイルランド 「世界じゅうの子どもたちへの手紙」
- 2013 アメリカ 「世界中のブック・ジョイ」





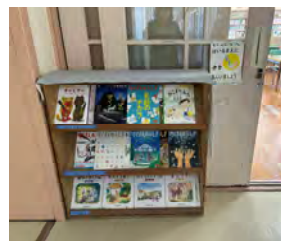
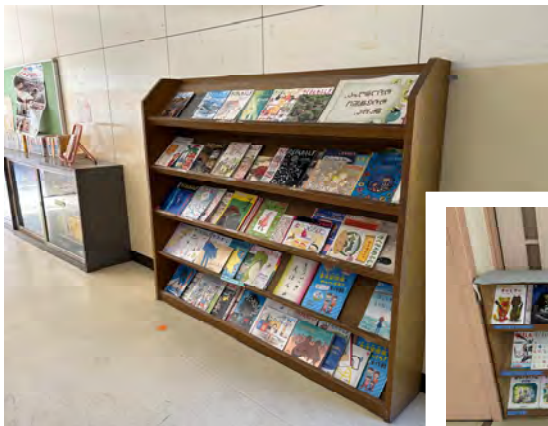
Hello! 学校図書館 入部小学校

1月末、早良区の入部小学校に訪問しました。北風が吹く寒い日でしたが、校長先生に笑顔で迎えていただきました。卒業前ということで、校長先生が実践されてきたことを話していただき、心が温かくなりました。



一つ一つの表示がはっきりとしていて見やすく、カウンター周りもきれいに整備されています。また、かわいい椅子が置いてあり、子どもたちがゆっくりと座って本を読んでいる姿が目につかぶようでした。

配架の工夫



学年に応じた読み物のコーナーがありました。また、読書お助けコーナーもあり、子どもたちが利用しやすい工夫がされてありました。学習内容に応じたコーナーを設けることで、読書の幅が広がることでしょう。さらに、面だして本の配架がされていることで、さまざまな本に興味を持てそうですね。



本の帯を使った3・4月の掲示・展示

春色の様々な本の帯と、空き箱を利用して作ってみました。
帯の紙は適度な厚みがあり、また、光沢もあり、立体的に表現できます。箱の中に貼ると、掲示の際に立たせることができます。また、図書館の小物を入れたりすることもできそうですね。



チューリップくきは折れ曲がるストローや、ひもで!

本のカバーや帯でバックを作ってみました!



4月の人・もの・こと



4.8 花祭り

仏教を開いた釈迦の誕生日を祝い、各地の寺院で花祭り、灌仏会（かんぶつえ）という行事が行われます。釈迦が生まれたとき、天から竜が甘露を降らせたという伝説から、花で飾ったお堂に釈迦の像をまつり、甘茶を注いでお祝します。

4.22 アースデー

地球環境を守るために、一人一人が行動を起こす日として、1970年にアメリカの市民運動指導者で、当時大学生だったデニス・ヘイズが提唱しました。日本でも、各地で環境問題について考えるイベントが開催されます。

4.23～5.12 こどもの読書週間

今年の標語は「ひらいてとじた笑顔がふえた」です。こども読書週間は「こどもたちにもっと本を、こどもたちにもっと本を読む場所を」という願いから、1995年に制定されました。図書館や書店ではいろいろな催しが行われています。

ハリス・クリスチャン・アンデルセン

(1805.4.2～1875.8.4)

デンマーク生まれ。小説「即興詩人」で有名になり、その後、「人魚姫」「みにくいアヒルの子」「はだかの王様」など150篇以上の童話を書きました。童話を文学として認められるものにし「童話の王様」と呼ばれています。

小川 未明 (1882.4.7～1961.5.11)

1910年に日本で最初の創作童話集「赤い船」を出版し、幻想的な童話を書き、雑誌「赤い鳥」にたくさんの童話を発表しました。「赤い蠟燭と人魚」「野薔薇」「月夜と眼鏡」など創作した童話の数は1,000編にのぼります。

レオナルド・ダ・ビンチ (1452.4.15～1519.5.2)

イタリアの芸術家、科学者。「最後の晩餐」や「モナリザ」などの絵画だけでなく、建築、医学、数学、軍事などさまざまな分野で業績を残し、「万能の天才」と呼ばれています。ヘリコプターの原案や人体比率の図が有名です。

【あとがき】吹く風に花の香を感じる温かな季節になりました。この時期は、子どもはもちろんのこと大人も別れと出会いを経験し、心が落ち着かないこともあることでしょう。そんな時、絵本で癒されてみてはいかがでしょうか。やさしい絵、やさしい言葉にきっと心がほっこりと温かくなることと思います。

【足立】



怒った気持ちも笑顔にかわるような、楽しいおはなしをご紹介します。

『プンスカジャム』

くどう れいん／作 くりはら たかし／絵 福音館書店 2021年 ¥1100(税別)

<お勧め年齢>

乳幼児★★☆ 小低学年★★★ 小中学年★★☆ 小高学年★☆☆ 中学生☆☆☆
高校☆☆☆ 一般☆☆☆

(★が多い年齢の子どもにお勧めです。)

<本の紹介>

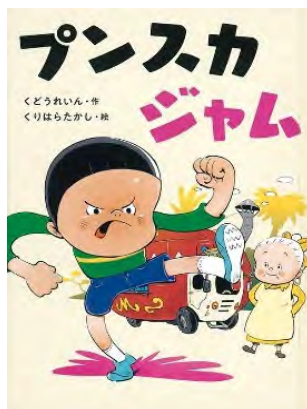
ハルは公園で友達のタニくんと待ち合わせをしているのですが、待っても待ってもタニくんが来ません。怒ったハルが口をへの字にしてどすどす歩いていると、赤くてまいる車を見つけました。車には「あなたのプンスカ、ジャムにします」の文字。車の中はパン屋になっていて、大きな窓の中からおばあさんが声をかけます。おばあさんは魔女で、ハルの怒った気持ちをジャムにするのです。ハルは鍋でジャムを煮ます。焦げないようにヘラでかき混ぜて、綺麗な色のジャムができると、「プンスカ」の気持ちはなくなっているのです。

<子どもに手渡す時のポイント>

表現が豊かで、挿絵も可愛い幼年童話です。テンポがよく読みやすいので、絵本から読み物への移行として渡すのにおすすめです。

楽しいだけでなく、怒りをコントロールするやり方も学べる内容になっています。お友達とけんかしたときなどにも、心を和ませてくれるでしょう。

このコーナーで紹介した本はお近くの図書館や書店に置いてあります。ぜひ手にとってみてください。



発行：福岡市教育委員会

総合図書館 図書サービス課

電話：092-852-0639

FAX：092-852-0801